

平成23年度

自主汗学

じしゆかんがく



平成24年1月24日
半田市立青山中学校
第21号
学校だより

進路選択、本番!!

いよいよ3年生の進路選択(受験)が始まります。いざ本番を迎えると、やはり緊張します。自分をうまくコントロールして、もてる力を十分に発揮してほしいと思います。

ところで、本番で力を発揮するためには、事前の準備が大切です。

たとえば、受験する学校の過去の試験問題はやっておきましょう。できれば、出題の傾向をつかみ、同じような問題を何度も繰り返し行っておくとよいでしょう。そうすれば、不安を和らげることができ、試験に自信をもって臨むことができるようになるかと思います。(ただし、当日直前に過去問題に挑戦することは、あまりお勧めしません。なぜなら、直前にやったとして、できない問題がある場合には、焦りや不安を助長することになってしまうからです。)

また、試験前日には、以下のことを確実にチェックしましょう。

- 受験票
- 交通費
- 交通機関の乗降時間
- 交通機関から学校までの経路(所要時間)
- 筆記用具
- 昼食(有無を含めて)
- 面接で話す内容(志望理由、将来の夢など)

いずれにしても、「備えあれば憂い無し」ということわざのように、試験当日までに、自分のできる範囲のことをしっかりと準備しておくことが大切です。がんばりましょう。



面接に自信をもって臨むことのできる自分をつくらう!

ところで、受験では、面接という受験生の人が見る試験が実施されます。

場に応じた服装や身なりができるかどうかという外見的なことや、あいさつや返事といったコミュニケーションの基本となることのできるかどうかはもちろんのこと、受験生がどんな考えをもっているのか、受験生に臨機応変に受け答えができる適応力や判断力があるかないかなどについて、問われます。

当然、試験する側は、よりよい人材を求めているので、競争率が高ければ高いほど、表面的・形式的なことではなく、内面的・本質的な質問をして、受験生を見極めようとしています。そして、受け答えの中で、本人がかもし出すムードで、その人の人となりや可能性を想像して、成績をつけるわけです。つまり、面接で最も重要なのは、面接官との受け答えということになります。

では、どうしたら、そうした受け答えがうまくできるようになるのでしょうか。

簡単に思いつくことは、繰り返し練習することです。しかし、どんなに面接練習をしたとしても(どんなに想定質問を考えたとしても)、本番で、想定した質問が想定通りにされるかどうかはわかりません。つまり、繰り返し練習することには限界があります。

したがって、面接の場でうまく受け答えができるようになるための唯一の方法は、自信をもって答えられることを確実に準備しておくことです。たとえば、志望動機や将来の夢、中学校時

代にがんばったこと、進路先でしたいことなど、いわゆる基本といわれる質問の回答を万全に準備しておくのです。(実際、面接の質問の多くは、基本の質問の変形と考えられます。)

しかし、それだけでは不安だという人には、もう1つできることがあります。それは、日ごろの生活を充実させるということです。日ごろから、いろいろなことに興味をもち、自分なりの考えをもつことです。青山中学校でいえば、教育信条「自主の精神、汗で学べ」を十分に意識し、前向きに生活する。そうした生活をする中で、自分の考えを深めたり、広げたりして、自分に自信をつけておくのです。つまり、ありのままの自分を出しても、誰にもおくすことのない自分をつくっておくのです。

いずれにしても、試験や面接に対しては、誰もが不安や焦りを覚えます。その不安や焦りと上手に向き合い、それを乗り切っていくてください。

これからが試練の時です。受験本番でしっかりと力を発揮するために、できることはしっかりと行っていきましょう。ガンバレ、青中生！！



百人一首大会

開校時より続いている青山中学校の伝統行事、百人一首大会が今年も行われました。各学年、熱戦が繰り広げられました。

1年生の部

＜成績＞クラス対抗の部 優勝1組、準優勝3組、第3位6組



2年生の部

＜成績＞クラス対抗の部 優勝2組、準優勝5組

